

事業名	医療機関等指導費			調書番号	48
細事業名	医療安全対策推進事業費	財務コード	084404		
担当部課室	福祉保健 部 医務 課	医療指導・県立病院 担当 (内線)	3415		

I 事業の概要

実施期間	始期 H15 年度 ~ 終期 年度
実施主体	県(直営)
目的	<p>だれ(何)を対象に</p> <p>①医療に関して苦情や心配事を持つ県民</p> <p>②医療従事者</p> <p>その対象をどのような状態にして</p> <p>①医療機関との信頼関係が構築される。</p> <p>②医療従事者の資質向上が図られている。</p> <p>結果、何に結びつけるのか</p> <p>医療の安全の確保</p>
内容	<p>医療安全相談コーナーの設置、医療安全推進研修会の実施、病院立入検査に係る診療放射線技師の雇用</p> <p>○医療安全相談コーナーの設置</p> <p>福祉保健部医務課・各保健所(地域保健課)に相談コーナーを設置し、医療に関する患者・家族等からの相談や苦情等へ対応する</p> <p>○医療安全推進研修会の実施</p> <p>県内医療機関従事者を対象に、毎年11月下旬の医療安全推進週間に合わせて医療安全に関する研修会を実施</p> <p>○病院立入検査に係る診療放射線技師の雇用(H26~)</p> <p>医療法第25条に基づく病院立入検査に際し、医療監視員として、県立病院機構から派遣を受けた診療放射線技師を雇用する</p>

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	目標	260件	260件	260件	260件	260件	260件	260件
	実績(見込)	282件	211件	266件	360件	352件	350件	
	達成率(件数)	108%	81%	102%	138%	135%	135%	
	達成区分	b	b	b	a	a	a	
成果指標	目標	75%,230人	68%,222人	67%,217人	63%,188人	63%,171人	64%,182人	63%,180人
	実績(見込)	63%,230人	66%,193人	61%,143人	63%,177人	69%,228人	70%,240人	
	達成率	84%,100%	97%,87%	91%,65%	100%,94%	109%,133%	109%,131%	
	達成区分	b	b	c	b	a	a	
決算(予算) 単位:千円		23	301	330	331	288	376	257

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	a	評価 ・医療安全相談件数は、関係機関へのコーナーの周知が進んだことや、各相談員が丁寧な相談を心掛けたことから、件数は増加傾向。 ・医療安全相談の納得割合は、横ばい傾向だが、継続案件や困難案件が増える中で、相談員のスキルアップにより一定の割合をキープできている。 ・研修会参加人数は減少傾向だったが、講師選定や内容を厳選するなどによりH27を底に増加に転じた。
成果指標	b	

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	医療相談件数、研修会参加人数ともここ数年は増加傾向であり、既に十分な成果を上げているが、相談コーナーについては、相談員の資質向上などにより、相談者の満足度をより向上させることが可能と思われる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明			
見直しの必要性	有	平成31年4月の甲府市保健所設置により、甲府市分は市に移管されることになるが、医療安全推進研修会については講演会方式であるため、県と市で別々に実施するより共同で実施する方が効率的で、より事業効果も高まるものと思われる。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	医療安全相談コーナーについては、事例蓄積等も進み内部での対応が可能となったため、H28に協議会を廃止するなど事業量削減を図ったが、外部研修への参加などを通じて相談員の資質向上を図る。また、医療安全推進研修会については、甲府市と共同開催とし、会場費を甲府市が負担し、講師招聘については県の持つ人脈等を活用するべく県が負担することにより、これまでの事業規模を維持するとともに事業効果をより高める。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。